

体験活動の一環として、親元を離れ、施設で一定期間寝食をとることにすることで、自主性・協調性を高め、あわせて生きる力をはぐくむことを目的とした、通学合宿、豊かな感性をはぐくみ、芸術機会の提供を目的とする、スクールコンサート事業を実施しているところである。さらに、スポーツ少年団や各種団体が企画・運営しているイベントについても、支援しているところである。このほか、スポーツやレクリエーションを通じて、他の地域の子どもたち

との交流を図ることを目的とした少年少女のつどい大会の開催や、各地区の子どもたちを対象とした夏休み巡回映画会を青少年相談員と連携を図りながら実施し、青少年の健全育成に努めています。また、青少年の基本的な生活習慣や、しつけといった家庭での教育は重要であり、保護者が家庭での教育を行う上で、大切な心構えを学習し、子育てを行う家庭同士で情報交換の機会を提供することを目的とした、家庭教育学級や地域に開かれた健全な育成を推進する体制の確立を図る、地域三二集会を各中学校単位で実施しています。



▶スポーツ少年団レクリエーション

問 就学区域の見直しはどうか。
教育長 近年「自宅の近くに学校があるのに、なぜ遠い学校に通わなければならないのか」等、指定校以外の学校に通わせたいと望む声があります。
そこで、本年6月に、平成19年度

に小学校に入学する予定の保護者の方を対象に、通学区域に関する意識調査を実施しました。その結果を考慮し、今後の基本的な方針として、「現在まで行ってきた通学区域の弾力的運用を拡大する制度として、従来の通学区域は残したまま、特定の地域に居住する者について学校選択を認める特定地域選択制の導入が適切であり、来年度の実施を視野に入れて検討することになりました。現在、具体的な地区、地域・学校の選定に入っており、就学区域審議会において検討を重ねます。

道路問題

問 今後の道路整備計画について具体的に何う。

市長 道路の整備は、八街市総合計画に基づき、広域的な移動が円滑にできる道路網の実現に向け、努力しているところで、現在、市道文違1号線、市道115号線の道路改良事業に着手し、事業の推進を図っているところですが、市道文違1号線の道路改良事業は、富山の交差点付近から主要地方道成東酒々井線までの間

を、本年度から4年間の補助事業として実施することとしていきます。また、市道115号線は、本年度と来年度の改良予定区間の工事が完了すると、沖十字路から千葉市との間が改良済みとなり、より安全な通行が確保されるものと考えています。

問 信号機の設置計画はどのようなものになっているのか何う。

市長 交通量の多い道路や交差点における歩行者や自動車の安全な往来を図るためには、信号機の設置が重要であることは、十分に認識しています。このため、区長など、地域住民を代表する方からの信号機設置要望をもとに、警察に要望を行い、毎年信号機を設置しています。

今後、交通量の多い交差点や丁字路、横断歩道などに信号機を設置し、自動車や歩行者の安全な往来が図られるよう、警察に対して要望していきます。要望箇所の中には、交差点改良を必要とする箇所もあるので、それらの整備計画ともあわせて検討・協議していく必要があると考えています。

駐輪場管理

問 駐輪場での自転車盗難防止対策は、どのようになっているのか何う。

市長 八街市全域において、警察への自転車盗難の届け出件数は、平成18年6月30日現在で、182件であり、前年同時期と比較すると、46件の増と聞いています。

八街駅・榎戸駅周辺に設置している8カ所の自転車駐輪場内においても、同様に盗難が増えている状況です。市としては、二重に施設ができるよう整備を進めており、利用者に対し、施設の徹底を指導しています。

また、随時、職員及び警察官が各自転車駐輪場を巡回するなどの対策も講じており、今後も警察署と連携し、いたずらや盗難等の防止に努めたいと考えています。

スポーツ振興

問 スポーツプラザを総合スポーツセンターに。

市長 活動拠点となる施設の整備・充実を図ることを平成17年度から20年間の基本構想の中で目標としています。

▶市民体育祭



今後、施設面での整備は、クリーンセンターの埋め立て跡地を利用し、陸上競技場、硬式野球場、サッカー場等の整備が考えられ、いずれも各種目公認規模の施設が必要になると思われるが、施設整備には多くの財政負担を伴いますので、財政推計等と照らし合わせ、次期基本計画の中で検討したいと考えています。

農業問題

問 担い手支援事業について

市長 本市では担い手に対する支援策として、その中心である認定農業者に対し、生産の安定化・省力化を目的として、パイプハウス・収穫機等の整備に対する補助事業を積極的に推進する